



始めませんか 農家民宿

農家民宿は、農家の普段の生活を、都市に住む方が宿泊して体験するお宿です。農家民宿を始めた方は、「色々な人と知り合えて楽しいし、笑顔を見られて幸せ。」と、口をそろえておっしゃいます。

初期費用や収入はやり方次第!みなさんも農家民宿を始めて、これまで以上に豊かな暮らしをしてみませんか!?



農家民宿では、次のサービスを提供します。

◆宿泊場所◆

空き部屋が1つ以上あれば可能。
離れ、空き家もOK!



◆農林漁業体験◆

自分でできない体験は、近隣の農家に依頼してもOK。



◆食事◆

素泊まりや近隣の飲食店の紹介でもOK!



リフォームと併せて開業した農家民宿



昔使っていた道具の活用



地域の農産物を活用した食事の提供



裏の畑でダイコンの収穫体験



郷土料理づくり体験



刈り取った稲のハゼ掛け体験

次のことを考えたことがあれば、検討の余地あり!

- ▶ 色々な人と触れ合って、豊かな暮らしをしたいなあ。
- ▶ 集落を元気にしたいね。集落の外から人を呼んでみたらどうだろう?
- ▶ 子供が家を出て空き部屋があるんだけど、何か活用方法はないかしら?
- ▶ 子供のために家を建てたのに、しばらく帰ってこないの!?! どうしよう…。
- ▶ そろそろ家をリフォームしたいなあ。
- ▶ お墓参りに帰るのに泊まる場所が無いみたい。何とかしてあげたいなあ。
- ▶ ご近所さんの家が盆と正月以外は空き家に。使っていないとボロボロになるんじゃないかしら。



毎日営業する必要無し!みなさんの都合で営業スタイルが決められます。

| 型式 | 営業方法 | 活用方法 | 特 徴 |
|-----|-----------------------|--------|------------------|
| 通年型 | 1年を通して営業 | 空き部屋活用 | 母屋の空き部屋を客室として利用。 |
| 季節型 | 農閑期や夏休み期間など、特定の時期のみ営業 | 別棟活用 | 新築、小屋や離れを活用。 |
| 週末型 | 土日、祝日のみ営業 | 空き家活用 | 地域の空き家を活用。 |

※そのほか、個人営業かグループ営業(生活研究グループや集落の女性部など)でも営業スタイルが分かります。

例えば、次のようなスタイルで営業されています。

自炊+農林漁業体験 (Aさんの場合)

| | |
|-----|--|
| 料 金 | 1泊3,000円/人 3歳以上小学生以下1,500円/人 2歳以下無料 |
| 定休日 | — |
| 食 事 | 自炊(近隣のカフェで弁当の予約可能。バーベキューセットの貸し出しも有) |
| 体 験 | 農業、染物、陶芸、郷土料理作りなど (地域の方と連携した体験メニュー) |



食事付+農林漁業体験 (Bさんの場合)

| | |
|-----|---|
| 料 金 | 1泊3,000円/人 小学生以下2,000円/人(食事代別。下欄のとおり。) |
| 定休日 | 4月~10月までの営業。火・水曜日休み。 |
| 食 事 | 1階のお食事処で提供(火・水・木が定休日)。 または、共同調理。 夕食1,500円~朝食500円(予約時に申込み) |
| 体 験 | 朝食・夕食の共同調理、野菜や果物の収穫・農作業、 郷土料理のタコ飯作り |



共同調理+農林漁業体験 (Cさんの場合)

| | |
|-----|---|
| 料 金 | 1泊3,000~3,500円/人 1部屋1~3名程度 |
| 定休日 | 週に2組まで |
| 食 事 | 【朝食】共同調理で提供(自炊も可能) 【夕食】— |
| 体 験 | 野菜の収穫、島の食材をいかした共同調理、 郷土料理のごう汁・いぎす豆腐作り(要相談) |



まずは次の窓口へご連絡ください。

【農家民宿に関する相談窓口】

香川県 農政水産部 農村整備課 農村環境グループ
 T E L : 087-832-3449(グループダイヤルイン)
 F A X : 087-806-0205
 E-mail : nosonseibi@pref.kagawa.lg.jp

